

函南駅から歩く会1

1



函南駅から歩く会1

①

●神原七観音

七観音様が置かれた時代は不詳です。昔この地域で不幸が続き荒れてきたので地元の人々はここを整備し厄払いをして村の安全を祈願したそうです。

先手観音菩薩（せんじゅかんのんぼさつ）、馬頭観音菩薩（ばとうかんのんぼさつ）、十一面観音菩薩（じゅういちめんかんのんぼさつ）、聖観音菩薩（しょうかんのんぼさつ）如意輪観音菩薩（によいりんかんのんぼさつ）、准胝観音菩薩（じゅんていかんのんぼさつ）不空羂索観音菩薩（ふくうけんじゃくかんのんぼさつ）の七駄の観音菩薩が祀られています。

七観音脇には道標があり、「右あたみ道」「左やま道」と彫られています。

その昔、日金山信仰が盛んだったころには日金街道として多くの人が行きかい旅人の道しるべとしての役割も果たしていました。

●熊野神社

全国に約300社を数える熊野神社の一つが祀られています。自然崇拝を基盤に置く熊野三所権現の修験道先達の活動により熊野神社は伊豆一帯に広く分布しています。熊野神社の祭神は「水の神」とされ、農耕にとって生命線とされる水の安定供給が祈願されました。

また「疫病退散・家内安全・子孫繁栄」を祈念する村民全体の守り神的存在であります。

毎年2月に例大祭が行われ地元小学生が巫女に扮して「浦安の舞」を奉納します。

函南駅から歩く会 2

2



仏の里美術館



春日神社



- 夜は暗いです。
- 店が少ないので飲み物は持参。
- 坂が多くベビーカー・車イスは無理です。
- 山の道がコンクリートなので夏は暑く、クッションのあるクツをはきましょう。
- 緑いっぱいで新鮮な空気、自然を感じることができます。
- 人の通りが少ないので防犯注意。



函南駅から歩く会 2
(かんなみ仏の里美術館コース)

距 離：約 5 km
所要時間：1.5 時間

函南駅から歩く会 2

②

●かんなみ仏の里美術館

開館 10時～16時30分 休館日 火曜日 入館料 大人300円（65歳以上200円）

平成24年4月開館

函南町桑原区では、平安時代の「薬師如来像」や鎌倉時代の「阿弥陀三尊像」など、二十四体の仏像群が、里人の厚い信仰心によって守られてきました。

これら仏像群の散逸を防ぎ、後世に保存継承していくための施設として、明治30年代後半に桑原の有志により、長源寺の裏山中腹に「桑原薬師堂」が建てされました。

2008年（平成20年3月）に桑原薬師堂の二十四体の仏像群が、桑原区から函南町に寄付されました。

寄付された仏像群には、国指定重要文化財の阿弥陀如来及両脇侍像（略称・阿弥陀三尊像）の他に、静岡県指定有形文化財（薬師如来坐像、毘沙門天立像、聖観音立像、地蔵菩薩立像、十二神将立像）があり、その中にも全国的に貴重な文化財が含まれています。町民の財産である貴重な文化財を、後世に保存継承するとともに、多くの方々が鑑賞し、学ぶことができる施設として「かんなみ仏の里美術館」が設置されました。里人の心に守られてきた仏像群が、皆さまのご来場をお待ちしています。

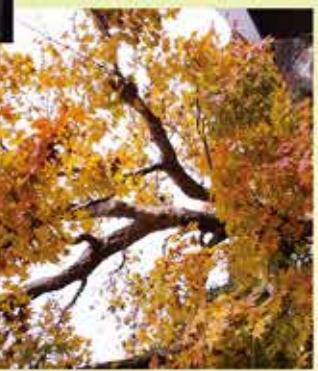
●桑原薬師堂と西国三十三所観音霊場

古来より観音信仰は庶民の間に広まり、特に西国の札所めぐりは伊勢参りと同様大変人気がありました、しかし巡礼は身体的にも金銭的にも、又、農作業にも支障をきたし大変なことでした、そこで文化3年（1806年）長源寺の月船和尚の発願により「写し靈場」を作ることになり、近隣の村々から淨財寄進を仰いで完成させることができました。

平成25年に少し荒れていた石仏や参拝道を地元自治会史跡保存委員会の皆さんのが整備し、歩き易くなりました、靈場を開いた月船和尚や里人の篤い思いを想像しながらぜひご参拝ください。

函南駅から歩く会3

3



仮の里
トライアド

白山神社

熊野神社

稻荷神社

長源寺薬師堂

山ノ神神社

牛舎

北部留守家庭
児童保育所
桑村小学校

不動の滝

校庭の授群

来光川

春日
春日神社

至三島

JR東海新幹線

函南駅

JR東海道本線

函南駅

大竹警察官
駐在所

宗時の
墓所

JA三島函南
大竹支店

至熱海
丹那トンネル

至熱海
JR東海道本線

函南駅前
郵便局



健脚コース

登り坂の道路です。
仮の里までトイレはありません。
火曜日は休館日です。

函南駅から歩く会3

(白山神社まで片道)

距離：約2.8km

所要時間：50分

函南駅から歩く会 3

③

●白山神社（桑原）

入谷に向かって合併橋のすぐ手前を左に折れて突き当たるような所にこんもりとした林があります。ここが白山神社です。神社の鳥居の右前にタブノキがあります。カゴノキ・ムクノキ・オガタマノキ・モクレイシなどが社叢をつくっています。

モクレイシの名は果実が割れて赤い種子が見えるのをツルレイシの果実に見立てて、それが木であるからついたと言われています。ツルレイシはそのウリを果樹のレイシの実にたとえたものだそうです。レイシはライチと呼ばれ楊貴妃が好んで食べたといわれている果実です。

大竹公民館から歩く会

4



大竹公民館から歩く会

④

●北条宗時神社・狩野茂光の墓所

函南駅から西側にこんもりと盛り上がったところがあります。山口医院の東側を登っていくと北条宗時の長男、宗時と狩野茂光（平安末期の伊豆国の武将・豪族、工藤茂光）のお墓と伝えられる墓所があります。付近にはハリギリや楕円形のどんぐりをつくるコナラが生えています。

●春日神社のクスノキ（県指定天然記念物）

樹齢は900年近くと推定され、勢いよく新芽が伸びる5月は新緑が美しく、夏は木陰で一休みすることができます。

冷川公民館から歩く会

5



冷川公民館から歩く会

⑤

●高源寺

高源寺は今から1200年前、弘法大師（空海）によって開かれたとも伝えられる曹洞宗の古寺です。当時の高源寺は、長久寺と称する真言宗の寺で、修行の道場として伊豆国一円を支配していたものと考えられています。平治の乱の敗北によって伊豆国の蛭ヶ小島に流されていた源頼朝が、文覚と源氏再興の密議を行った寺と伝えられ、石橋山へ進軍する頼朝軍の「軍勢ぞろいの地」とも伝えられています。

山火事によって伽藍を焼失してしまいますが、1190年（建久元年）に源頼朝が再興し、名をそれまでの「長久寺」から源氏の一字を入れた「高源寺」と改めたと伝えられています。

本堂屋根瓦や鐘楼門横の蔵には源氏の家紋である 笹りんどうを見る事ができ、出世寺・安産子育ての寺としても知られています。

門前の冷川を渡り、苔のはえた石畳を登って山門をくぐると、古色蒼然とした趣があり、心をしばし無限の世界へいざなってくれます。

パサディナ公民館から歩く会

6



パサディナ公民館 から歩く会

距離：約3.5km (6,100歩)
所要時間：1.5時間

パサディナ公民館から歩く会

⑥

● 莖山往還

はこね道などと呼ばれ北条氏の小田原城と荏山城をつなぎ、江戸時代には江戸と荏山の代官所を結ぶ道でした。

荏山往還の案内板の下には、右にらやま道、左くわはら道と記された道標があります。

函南区公民館から歩く会

7

函南区公民館をスタート、上沢から平井の農道を通り函南区公民館に戻るコースです。
平坦な道が続き、農道は車通りも少ないので、歩きやすいと思います。
最終、神戸のバス停横の坂道のみ5m程、急な登り坂があります。



函南区公民館から歩く会

⑦

●来光川

函南町には狩野川、大場川（境川）、柿沢川、来光川が流れています。来光川は丹那山系や箱根山系を源としています。伊豆天城山系から田方平野に流れる狩野川、富士山麓から南下する黄瀬川と合流し駿河湾に注ぎます。来光川の堤防沿いは平坦でない路面があったり、道路で分断される個所がありますが、長い距離のウォーキングも楽しめるコースでもあります。